



太平洋地域が直面する 主な気候変動と サンゴ礁の課題

デイビッド・シェパード 太平洋地域環境計画事務所長 2013年6月30日





プレゼンテーションの内容

- ・太平洋というコンテクストとSPREFの業務内容の 紹介
- ・太平洋諸国およびサンゴ礁が直面する気候変動 の影響の概要とPACCを含む対応の検討
- 太平洋地域における気候変動対策とサンゴ礁保護を成功させるためのキーファクターの洗い出し





太平洋地域およびSPREFの紹介



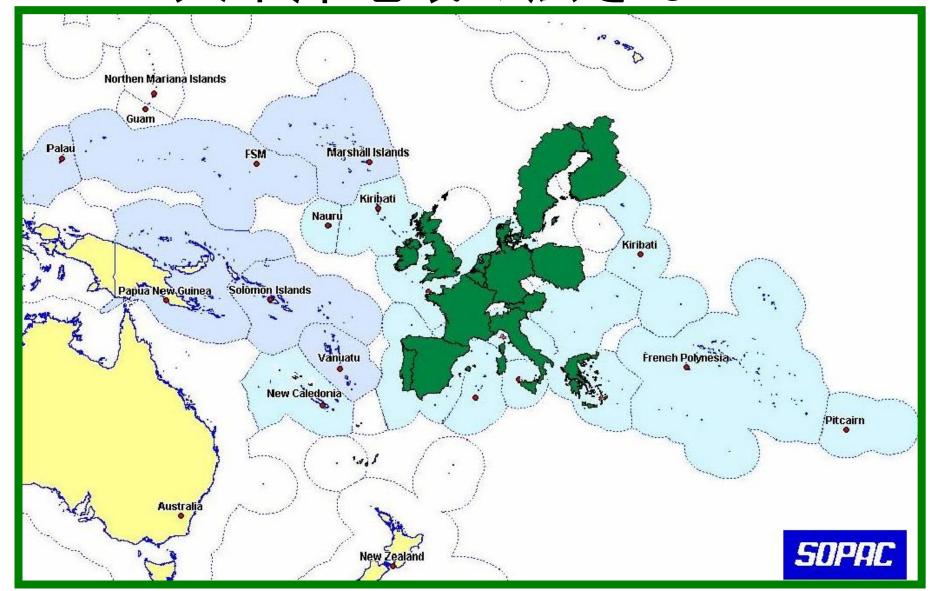


紹介 - 太平洋地域とは

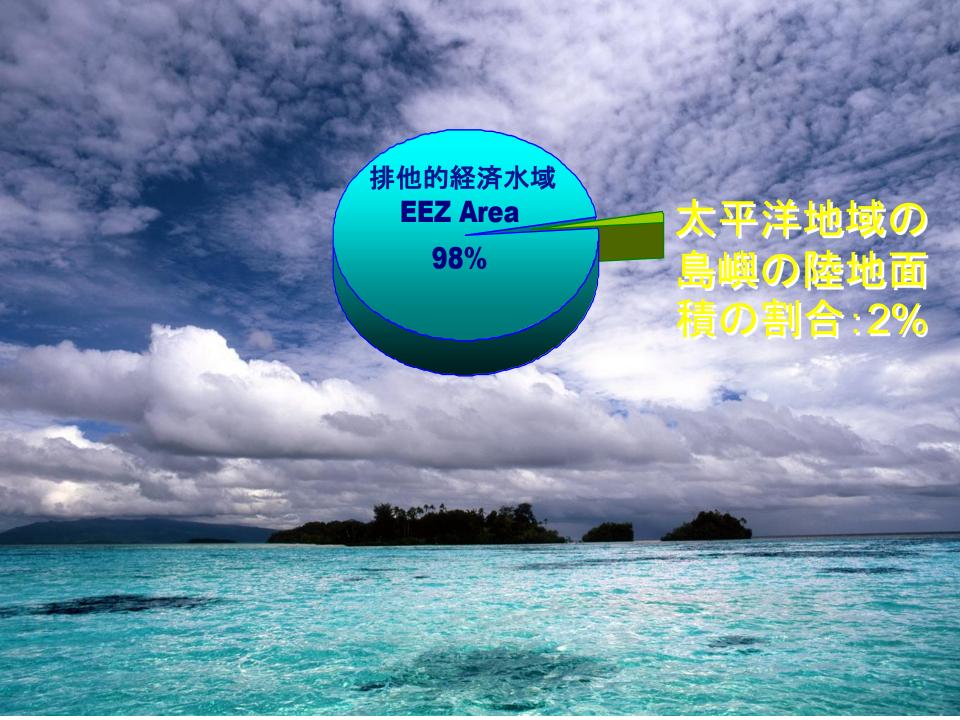
太平洋地域の特徴

- 非常に広大
- 多い離島
- 気候変動に非常に脆弱
- これらの課題に対処する人材、リソースが不足
- 太平洋は我々にとって不可欠

太平洋地域の広さは?









紹介 - SPREPについて

- 太平洋地域の環境面を担当する組織
- 特に4分野を中心に活動一気候、生物的多様性、 廃棄物、ガバナンス
- 地域を管轄して40年ーうち20年は独立組織として (1993年6月16日)
- 太平洋諸国(21の島嶼国・地域)および5つの「本国」 に所属(オーストラリア、ニュージーランド、米国、 フランス、英国)
- 年次SPREP会議を中心とするガバナンスの構造 ー太平洋のすべての国に対して説明責任を負う



第21回SPREP 会議 公式会議参加者の集合写真 マダンリゾート(パプアニューギニア) 2010年9月6 - 10日







気候変動の影響と 太平洋の反応





太平洋地域における2100年までの予測

- 気温は3℃上昇
- 猛暑日が増加
- 海面は80 cm上昇すると予測
- 海洋の酸化が継続・加速化
- 強い勢力の熱帯低気圧(サイクロン)の増加
- 降雨パターンの変化





影響と反応

- すべての太平洋諸国で、気候変動の影響が顕著
- SPREP等の組織が対応するも、課題は広大な地域におよび、増加傾向が強い
- 太平洋諸国の長らは、気候変動を、太平洋地域が直面する最も重大な脅威であると位置づけてきた















水資源の 安全保障

海岸

食料の 安全保障

衛生

生物学的 多様性に 基づく 資源

社会的 次元

国の安全保障







サンゴ礁に対する気候の影響

✓ 気温が1.5℃上昇すると、小さい島々は気候の甚大な影響 を受ける – サンゴ礁は白化し、2℃上昇すると、ついには 死滅してしまう

✓世界の平均気温の上昇形態は一様ではないため、わずか 2°Cの上昇でも、局所的に非常に甚大な影響が及ぶ 可能性がある





14カ国のPACC

















ソロモン諸島のPACC一食料の安全保障



農業や水系は、津波や高潮による洪水、雨季の長期化に曝されている。

PACCは、新しい農業の方法、今までとは異なる穀物種の栽培を導入を中心に取り組んでいるーマライタ州オントン・ジャワでの試み





ソロモン諸島













コミュニティを 中心として、 適応の焦点を リッジ・トゥ・ リーフに

緩和と再生可能エネルギー

- 太平洋地域における温暖化ガスの発生量は、世界の0.03% だが、この地域は、気候変動の影響を最も大きく受けている 一太平洋地域はその最前線にいる。
- 太平洋諸国はすべて、エネルギー戦略を持っており、大きな 成功を見ているところもあるートケラウは、100%を太陽光で 賄い、トンガのエネルギー・ロードマップは大きな支援と弾み を提供している。他にもプラスは多い。
- SIDSドックは、新しい大きな取り組みであり、小島嶼開発途上 国における再生可能エネルギーをサポートするものである。
- 「パシフィック・ソリューションをパシフィック・ソリューションで」 を奨励し、発展させる必要がある。



海岸、海洋、サンゴ礁に対する対応

- 海洋資源、海岸資源をよりよく保存し、管理するという太平洋地域の努力は、パシフィック・オーシャンスケープのイニシアチブで調整
- これは、持続的な水産資源を確保し、重要な海洋生物、種を識別、保護するとともに、サンゴ礁をよりよく保存することが目的
- このパシフィック・オーシャンスケープのイニシアチブを国際社会でサポートし、各国の自国に海洋資源を保護することをサポートすることが重要(地域主導型管理海洋区域(LMMA)、WH、マリンサンクチュアリ)











太平洋地域のおいて 気候変動対策を 成功させるための キーファクター





成功のキーファクター

- 実践的な適応の方法を開発・応用する 各国の ニーズにあったもの。成功例やPACCなど機能する プロセスに基づいて開発・応用し、「わかりきったこ とを1からやり直さない。」
- 国レベル、地域レベルで、気候変動に対する効果 的な政策の枠組みを作成する。気候変動に対す る適応と災害リスクの低減の間の相乗効果を確保 しなければならない。





WMO戦略計画(SP) 2012-2015)

RAV戦略計画 (SP) 2012-2015)



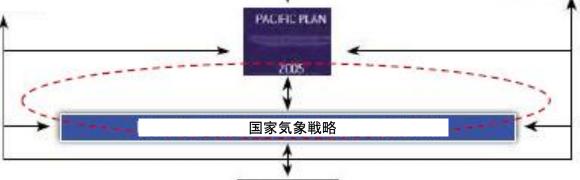
国連気候変動枠組条約1992



2015

PACIFIC ISLANDS FRANCINGES

太平洋災害リスク低減・管理枠組み行動2005-2015)



- 気候変動適応対策と方針を実施
- 気候変動に関する理解の増進
- 気候変動に関する知識、情報、大衆の理解、教育
- 気象・気候サービスの増進
- 準備、対応、リカバリー
- 早期警報システム

- 成果
- タイムリーな気象・気候情報と予報
- ・ 潜在的リスクファクターの低減
- ・脆弱さの根本原因とリスク要素に関する理解

成功のキーファクター

- 国際社会からのサポートの確保。グリーン気候基金をできるだけ迅速に動員し、コペンハーゲン合意のターゲットを達成することが必須。
- 太平洋諸国の能力強化 気候変動を管理することと、基金のレベルを効果的に強化することの 両面。
- 気候変動に関する研究基盤、情報基盤を強化し、 主要ステークホルダをターゲットとして応用することを確保すること。





成功のキーファクター

- すべてのレベルでよりよいパートナーシップを構築 地域コミュニティ、地方自治体、非政府組織を含むーすべてが重要な役割を担い、気候変動に対処することが必須。パートナーシップは、地域内、地域間で構築すべきーたとえば、SPREP、5C、IOC等。
- 寄付者の協力関係の増進が必須であり、 「自らの」気候プログラムを放棄すること ーショワズール県がその模範。



気候変動に対する脆弱性評価

ソロモン諸島ショワズール県











giz







成功のキーファクター

- 太平洋地域における気候変動へのアプローチが、 多部門間で行われることを確保すること一気候 変動はすべての部門を横断的であること、これを 反映した対応を行うこと。
- SIDSサモア会議2014(2014年8月)など、主要なイベントを効果的かつクリエイティブな方法で使用し、太平洋が直面する問題、気候変動やサンゴ礁管理に関する懸念事項を顕在化・支援すること。

日本の役割

- 日本からは、PALMのプロセスを通し、太平洋地域に 多大な資金を提供していただいた。これは、特に再生 可能エネルギーに対するものである。また、2国間の 支援も提供していただいている。
- 太平洋地域に直接関連し、応用できる幾多の経験が 日本にはあるー「両者とも島国である。」
- ・機能可能な日本一太平洋モデル(J-PRISM等)を構築・拡大するべき。
- 日本政府の太平洋地域に対する多年にわたる支援 に感謝したい。ありがとうございました。

結論

- 太平洋地域が直面する気候変動は、大きな課題である。その影響は広範囲にわたり、地域のサンゴ礁に大きな影響が及ぼされている。
- 効果的で調整された対応が必要であり、PACCのような機能するアプローチを基盤として実施することが必要。
- 国際社会からの更なる支援が必要。
- 日本政府の役割は明確かつ重要であり、今後も協力 を続けていただくことを期待する。

